世代間交流＠

市町村名：浜中町
町 人 口：6,602 人（H23.3.31 現在）
地域概況：　海から開かれた浜中町は、釧路地方の最東端に位置し、厚岸町・別海町・根室市に接して、東南は太平洋に面し、霧多布半島を形成しており、厚岸道立自然公園の一角をなしている。
　北海道遺産『霧多布湿原』を有した、天然昆布の生産量日本一の漁業と「ハーゲンダッツのアイスクリーム」、やわらかな甘みとコクが特徴の「カルピス北海道」の原料となる高品質な牛乳生産の酪農が盛んな自然豊かな町である.

１．取組のきっかけ・経過

浜中町地域活動支援センターは、障がい者の日中活動の拠点として、創作的活動等の機会を提供し、社会との交流の促進と地域生活の支援を目的として、平成１８年１０月に開設しました。地域生活相談支援等を図りながら、事業展開をしてきた中で、今まで地域社会に溶け込むことなく、孤立した中で生活を送ってきた障がい者が年を重ねて、症状・状態が悪化してしまってから、行政に助けを求めてくるという一次産業（家族経営）中心の町であるゆえに多く見受けられるケースがあり、このような悪循環をなくするためには、もっと地域に溶け込んだ交流の場の提供が必要と考え始まった事業である。

２．事業（活動）内容

障がい者や高齢者や子どもが共に参加する「共生型サロン」には、相談室を設置しており、障がい者、高齢者、子どもや地域住民の福祉ニーズにおける相談を一元的に受けることができるよう支援体制を整えるほか、毎週火曜日は、午前１０時から午後４時まで、施設内の集会室を利用して、地域活動支援センター利用者と創作活動やカラオケ、ゲームなどを行い、誰もが気軽に立ち寄れるような、交流の場としての「共生型サロン」の役割を担っています。また、年に６回程度、行事を行っており、医療講演会の開催やカードバトル大会、パークゴルフ大会やくだもの狩り日帰り旅行などで、多くの方に参加していただいており、特に当町の伝統文化の継承として行っている「手がけ昆布」をメインとして行事では、放課後児童クラブの子どもたちが、老人クラブの皆さんの手解きで実演しながら、その技を手取り足取りふれあいながら、受け継がれ、回を重ねるごとにたくさんの参加をいただいており、“どやどやがやがや”とまさに世代を超えた交流が図られている。

３．成果・効果

少子高齢化、加えて核家族化が進む中で、高齢者と接する機会も少なく、たとえ接する機会があったとしても、接し方がわからないといった子どもたち。ましてや障がいを持つ方とのふれあいなど皆無に等しかった子どもたちが、「共生型サロン」を通じて、高齢者、障がい者と一緒になってふ

れあいを持ち、「世代を超えた交流の促進を図り、町民生活に豊かな感性と活力をもたらす参加者が自由に参加できることを目的とした共生型サロン」としての事業の目的を今まで行ってきた年間行事での感触からしても、十分成果があったと考えており、障がい者、特に精神疾患のある方への支援相談の際においても、「共生型サロン」の行事紹介などをして、実際参加してもらい、日中活動の場として、地域活動支援センターへの利用に移行することで、ストレスなく支援が行えるなどの効果があると思われる。

４．課題・これから

今後においては、毎週火曜日開催の「共生型サロン」利用者のニーズを踏まえ、集落が点在する当町の特徴から、利用者の交通手段の確保など、さらなる利用拡大に向け取り組んで行かなければならないと考える。

問合せ先：北海道厚岸郡浜中町霧多布東３条１丁目１２番地１
浜中町役場　福祉保健課福祉係
TEL0153-62-2305　FAX0153-62-3049